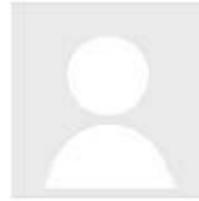


TOPICS

新任医師のご挨拶



脳神経外科 専攻医 山崎 慎太郎 (やまざき しんたろう)

本年9月より、大阪南医療センター脳神経外科に赴任致しました、山崎慎太郎です。患者さんに納得していただけるような医療を提供できるよう、尽力して参ります。よろしくお願い申し上げます。

MINAMI MADO

2023.10. No.38



独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター



大阪南医療センター 循環器疾患センター 胸背部痛、呼吸困難、動悸等 循環器疾患が疑われる際には緊急対応連絡先へご連絡ください。
24時間緊急対応 (ハートコール) 直通 Tel. 0721-53-3200

地域医療支援病院 | 地域がん診療連携拠点病院

〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町2-1 Tel.0721-53-5761 Fax.0721-53-8904

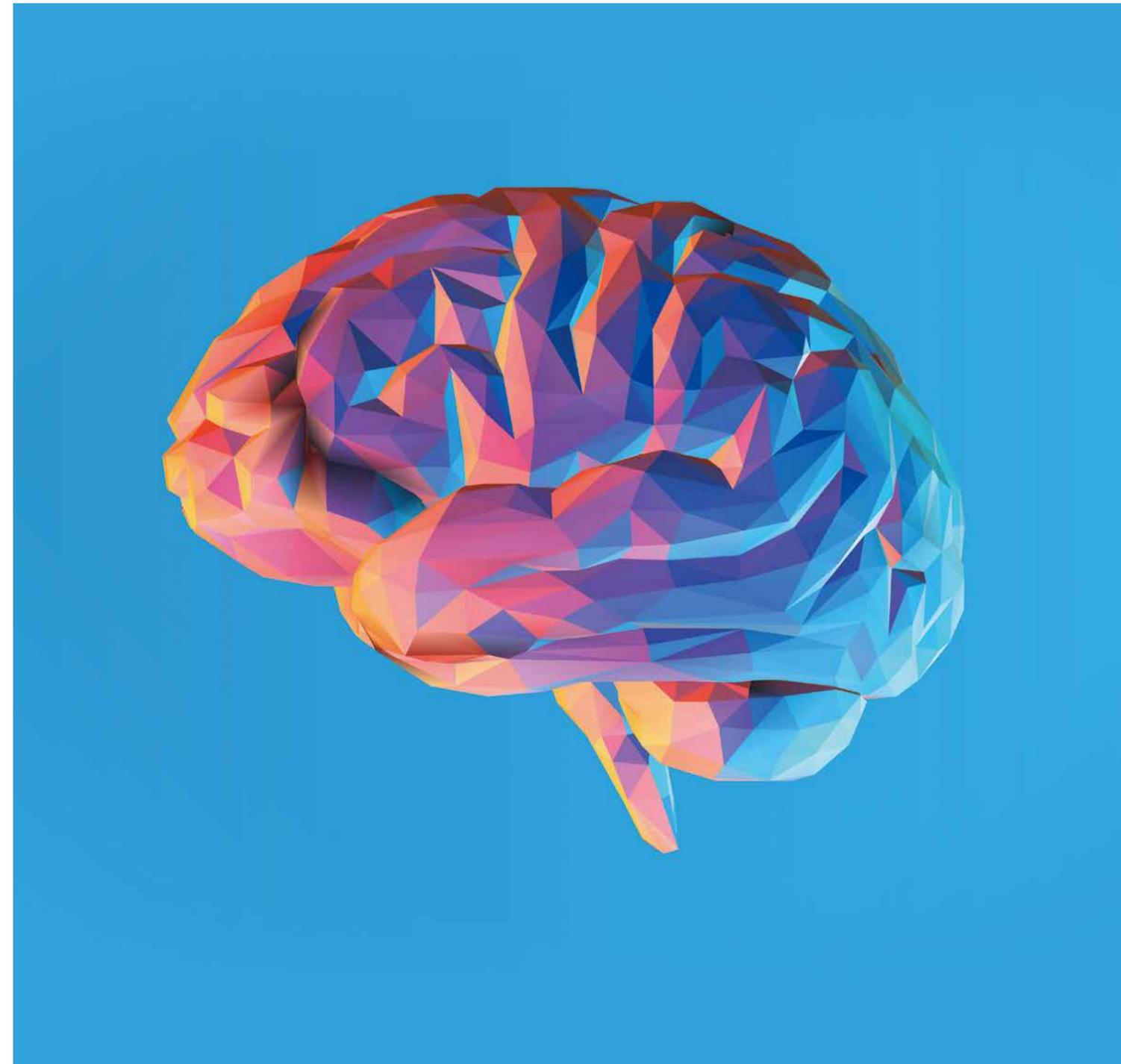
独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター

<https://osakaminami.hosp.go.jp>

診察・検査の予約方法はこちら ▶



独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター
National Hospital Organization Osaka Minami Medical Center



脳卒中とくに脳梗塞について

脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血といった突然に発症する脳卒中は、本邦では死亡原因の第4位となりましたが、いまだ寝たきりとなる原因の第1位を占める重大な疾患です。特に近年は脳梗塞に対する超急性期の治療が進歩し、さらに脳卒中専門病棟での集約的治療の有用性が証明され、脳卒中は発症後できるだけ早く専門病院にて治療を開始することが生命予後だけでなく、機能的な予後も改善することがわかってきました。

要介護度別にみた介護が必要となった主な原因

介護度	第1位の原因	比率
要支援 1	高齢による衰弱	19.5%
要支援 2	関節疾患	19.8%
要介護 1	認知症	26.4%
要介護 2	認知症	23.6%
要介護 3	認知症	25.3%
要介護 4	脳血管疾患(脳卒中)	28.0%
要介護 5	脳血管疾患(脳卒中)	26.3%

※出展：厚生労働省「2022年(令和4年)国民生活基礎調査」

受診が早ければ治療の選択肢が増えます

脳梗塞発症4.5時間以内であれば、脳血管を閉塞している血栓を溶解する静注療法(tPA療法)を行うことができます。また発症24時間以内であれば特殊なカテーテルにより脳血管内の血栓を回収する血管内治療のチャンスがあります。2023年4月からは当院では脳血管内治療専門医が2名となり、より充実した体制となりました。

MRAの画像



tPA療法前

tPA療法後

専門スタッフによる脳卒中チーム医療体制

当院では脳卒中学会専門医、経験豊富な看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、そして医療ソーシャルワーカー等の各種専門職が協力して集学的な脳卒中チーム医療を推進しています。しかし先生方もご存じのように脳卒中治療はこれで終わりではありません。当院での急性期治療から回復期のリハビリ専門施設へ、そして地域の先生方と連携して慢性期脳卒中治療へと円滑な移行をはかり、ADLの向上、脳卒中再発予防を継続していかねばなりません。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



24時間
365日の

脳卒中診療体制

脳神経外科医・脳血管内科医・神経内科医が協力し、脳卒中センターとして、24時間365日の脳卒中診療体制を構築しています。頭部CT・MRI、脳血管撮影がいつでも施行可能で、迅速な病態評価により急性期脳卒中に対する最良な治療をすぐさま開始いたします。



左から 山崎 慎太郎(脳外)、古田 隆徳(脳外)、杉山 幸生(脳内)、山田 與徳(脳外)
高橋 大介(脳内)、渡邊 彰弘(脳内)、松浦 史華(研修医)、三輪 隆志(神経内科)